

アンダーソン血液学アトラス

著 者：シャウナ C. アンダーソン ヤング
ケイラ B. ポールセン

訳 者：小山 高敏

判 型：菊変判 296 頁 定価(4,400 円+税)

出版社：メディカルサイエンスインターナショナル 2014 年 11 月

I. 米国血液アトラス、待望の日本語版

本書は米国の著名な血液学者である Shauna Anderson Young 先生と Keila Poulsen 先生が完成させた血液学アトラスを、血液学に精通した小山高敏先生が日本語訳したものである。臨床検査技師を目指す学生だけではなく、現場で活躍する臨床検査技師を筆頭に医師、研修医など様々な医療従事者の方々の日常の血液検査臨床業務や教育に役立つものである。

何よりも本書はコンパクトな菊変判で製本されており、顕微鏡の手前に置きながら鏡検できるので非常に使い勝手が良く作られている。実務で活用することを念頭に計算され尽くされている。

II. 臨床検査技師のためのガイドブック

本書は正常像を丁寧に示した上で、異常像を提示している。他の血液アトラスを用いて講義・実習をすると、どの血球に着目すべきか分かりづらいと言う声がある。そこで本書は異常血球を矢印で示している。各細胞の「概要」欄に特徴が的確にまとめられており、理解しやすい。

また特殊染色の染色像についてまとめられている項目もあり、臨床検査技師に寄り添って作成されており、至れり尽くせりである。

III. グローバル化に対応

今後、ますますグローバル化が進むにつれ、日本国内のあらゆる病院に外国人患者が診察に訪れるであろう。これまで診ることもなかった症例に出会うことも多々あるであろう。本書は日本ではまれな症例の標本像も網羅しており、初見の血液像や疾患にぶつかった時に、心強い参考書となることは間違いない。

IV. 血液像から疾患を深く学ぶ

本書の後半では、血液疾患ごとにページが割かれている。まず豊富な血液像が掲載されており、臨床的特徴・病理・検査所見の特徴・診断の概要が続いて詳細に記述されている。ご存知の通り、すべての疾患は血液像のみで診断するわけではなく、正確な血球形態学を診断の基礎として、細胞免疫学的検査・染色体検査・遺伝子検査など様々な検査を適用して血液疾患の診断・治療が行われているのである。より深く疾患を学ぶ良いテキストであろう。

本書をあらゆるレベルの学生から血液臨床業務に従事する臨床検査技師へ強く薦めたい。

(西尾美和子：東京医科歯科大学
mnishio.lmg@tmd.ac.jp)